



Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界

IR-DAY 2025



本日のプログラム

内容	登壇者	時間(予定)
第4次中計達成に向けて	田中 信二 (代表取締役 社長執行役員)	9:35～9:50
資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて	岡田 浩三 (執行役員 財務本部長)	
事業連携の推進 / 板事業の4次中計進捗	橋本 圭造 (副社長執行役員)	9:50～10:05
板事業		
UACJ (Thailand) Co., Ltd	Teerapun Pimtong (UATH執行役員 バンコク事務所副所長)	10:05～10:20
TRI-ARROWS ALUMINUM	Henry Gordinier (UACJ 専務執行役員 TAA CEO 兼 UNA CEO)	10:20～10:35
UACJ Automotive Whitehall Industries, Inc.	Mike Wegener (UWH President)	10:35～10:50
UACJグループのさらなる飛躍への挑戦 航空宇宙・防衛材事業本部のご紹介	高橋 南 (常務執行役員)	10:50～11:05
	休憩	11:05～11:15
	質疑応答	11:15～12:00



Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界

IR-DAY 2025

第4次中計達成に向けて

田中 信二

代表取締役 社長執行役員



UACJグループが目指す軽やかな世界

UACJグループ理念



企業理念(パーパス)

素材の力を引き出す技術で、持続可能で豊かな社会の実現に貢献する。

目指す姿(ビジョン)

アルミニウムを究めて環境負荷を減らし、軽やかな世界へ。

価値観(バリュー)

行動指針「UACJウェイ」

相互の理解と尊重

- 地域社会との交流を大切にし、貢献する。
- 人の多様性を認め、価値観を尊重する。
- オープンなコミュニケーションを実践し、チームと個人の成長を大切にする。
- 「イキイキとした職場づくり」を推進する。

誠実さと未来志向

- 5ゲン主義に基づき行動する。
- 現実に真摯に向き合い、物事の本質を捉えた「誠実なモノづくり」を通じて、ステークホルダー目線の期待に応える。
- 「未来志向」で時代を先取りし、地球環境を守る活動に積極的に取り組む。

好奇心と挑戦心

- 環境の変化に対して常に「好奇心」と「挑戦心」を持ち、社会が必要とする製品とサービスを提供する。
- 社会の将来に向けたオープンイノベーションに対して、創造力を持って取り組む。

行動指針「UACJウェイ」



UACJグループのサステナビリティ ～軽やかな世界へ導く羅針盤～

100年後の軽やかな世界のために

私たちの毎日の暮らしを支える素材、アルミニウム。
自由にカタチを変え、無限の可能性を持つ素材。
同じものとして、何度でも生まれ変わることができる
この特徴は、アルミニウムならではの。
言わば「サステナブル(持続可能)な素材」です。

そんなアルミニウムの持つ力を
技と術で引き出してきたUACJだからできること。

それは、美しく豊かな地球がずっと続く未来が実現できるよう、
これまで受け継いできた叡智と情熱を胸に
地球環境が抱えるさまざまな課題と向き合い
環境に配慮した事業を営んでいくこと。

さらに、誰もが幸せを感じられる健やかで調和のとれた社会が実現するよう、
あらゆる人々の多様性を尊重し地域社会との共生・共創を通して、
ステークホルダーの皆さまとともに社員一人ひとりが、考え、行動すること。

アルミとあしたへ。
未来の子どもたちに、美しい地球を。サステナブルな社会を。
それがUACJの考える「軽やかな世界」です。



変わりゆく世界 : 人の変化、企業の変化

世界経済は先行き不透明感を増し、変動する事業環境に素早い判断が求められる

● 変わりゆく世界

世界の多極化
緊張関係の高まり

気候変動
大規模災害の発生

サステナビリティなど
関連法規制の強化

資源の枯渇

不透明な経済動向
エネルギー不足・物価高騰

新たな事業環境変化

- 人件費、諸物価の急速な高騰
- 米国政権交代による
関税政策の転換
- EV化需要の後ろ倒し
- AIの急速な広がりによる
データセンター等需要の拡大

● “人”の環境負荷低減への意識の変化

環境を意識した購買行動

リサイクルの推進 フードロス削減

環境対応車の普及 脱プラスチック

● “企業”の環境負荷低減への意識の変化

リサイクル性に優れた製品の供給

水資源の保全活動

カーボンニュートラルへの取り組み

省エネ・創エネに向けた取り組み

第4次中期経営期間における、現状での事業認識



2024年度
(実績)

国内： 缶材、厚板等の販売が順調に進捗し、収益を確保
海外： 北米を中心に、グローバルにおいて継続する好調な缶材需要を捕捉



2025年度
(計画)

- 拡大する市場を捕捉
 - 環境意識の高まり、また人口増・経済発展による世界的な缶材需要の拡大
 - 中長期的に成長が見込まれる自動車関連分野の拡大
- 原材料の価格の高騰を吸収する販売価格改定の交渉を継続
- 2027年度目標達成を見据えた戦略投資の仕込み
(米国関税政策はリスクとして認識するも、具体的な業績への影響は限定的と見込む)



2026～
2027年度
(予測)

- 缶材、航空宇宙・防衛材、半導体製造装置向け製品の需要捕捉
- 米国熱延増産やリサイクル設備等、戦略投資の収益貢献
- UACJリサイクル率： 2030年度目標80%を目指し、環境価値を創出

第4次中期経営計画 進捗の概況

中期経営計画の方針・最終年度の数値目標は堅持

外部環境の変動へ一層の注意を払いつつ、事業戦略の実行を支える経営基盤を強化

第4次中計テーマ：素材提供企業から「素材＋α」の付加価値提供企業へ
～稼ぐ、繋ぐ、軽やかに～

① 成長戦略・付加価値戦略

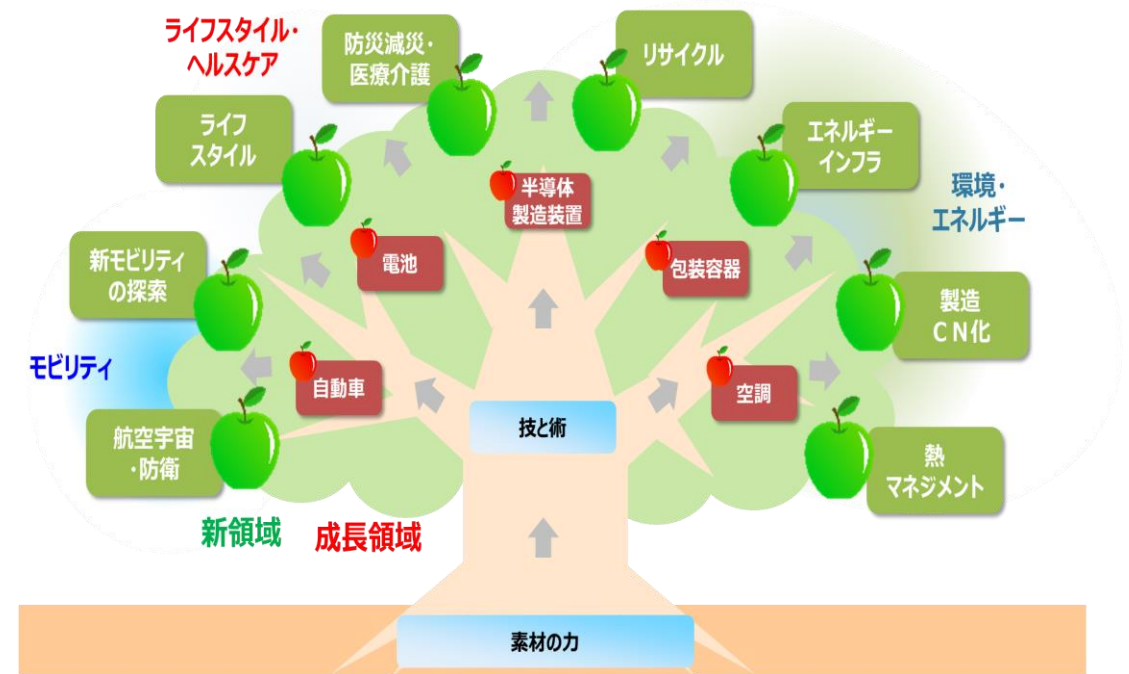
価値創出拡大による収益の最大化と収益率の向上

② 事業の強靱化

筋肉質でしなやかな体質の強化

③ 基盤の強化

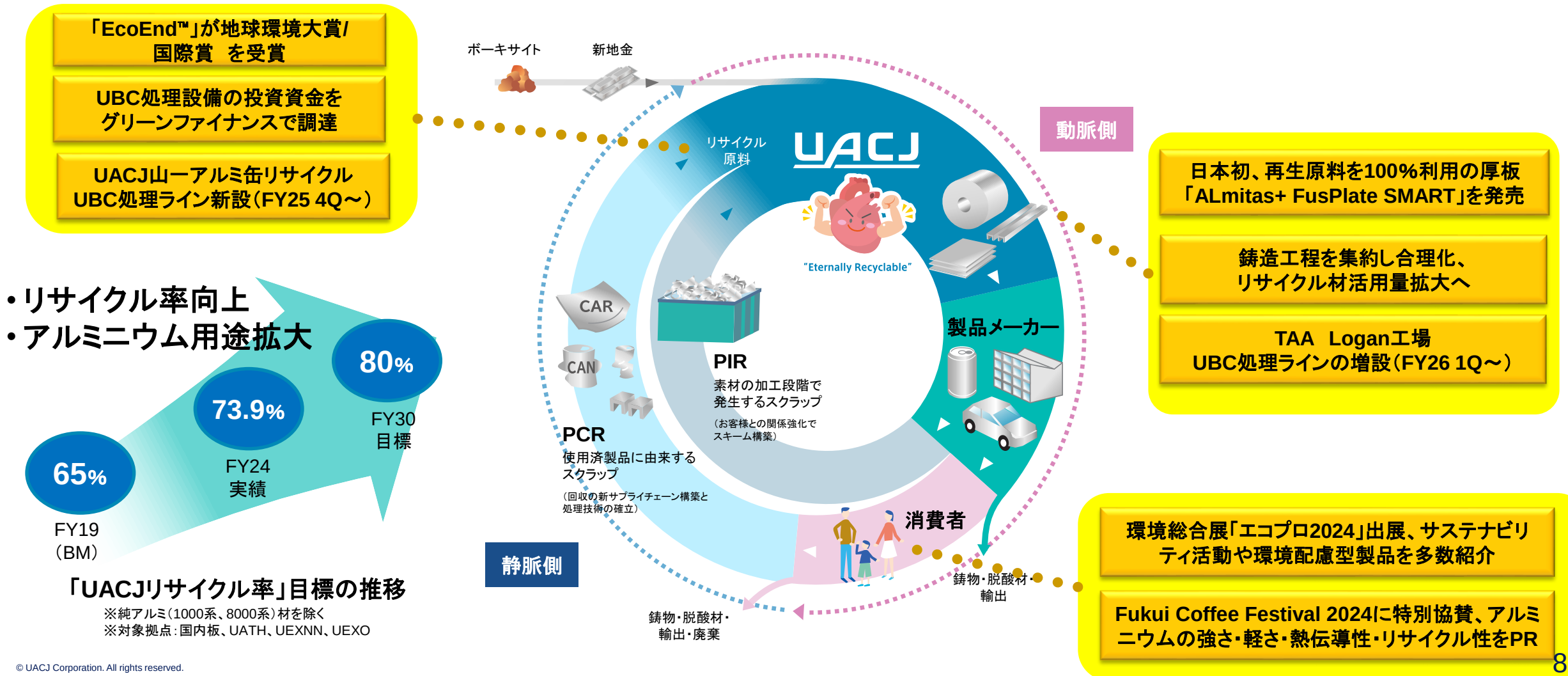
価値創出と安定した事業運営を支える基盤の強化



🍎：既存領域の重点活動分野 🍏：新領域の重点活動分野

成長戦略・付加価値戦略の進捗 -リサイクルの推進

「アルミニウムの循環型社会」構築を牽引すべく、積極的な施策を実施

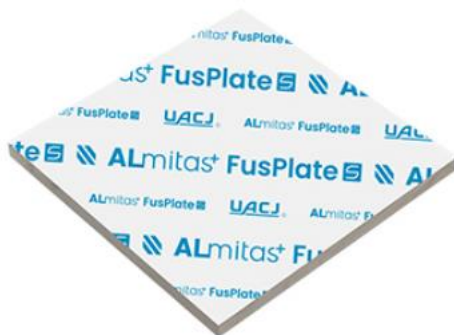


基盤の強化 –技術・ブランド等無形資産強化と“UACJの当たり前”

ALmitas⁺ (アルミタス)の展開

ALmitas+ 新製品

日本初*、再生原料を100%利用の厚板「ALmitas+ FusPlate SMART」を発売
—半導体分野などの環境負荷低減に貢献—



ALmitas+ FusPlate SMART製品画像



ALmitas+ FusPlate SMART製造の様子

- ✓ 新地金を利用せず、アルミスクラップなどの再生原料を100%利用
- ✓ 包装資材は環境にやさしい保護フィルムを使用

【採用を目指す製品分野】

半導体製造装置、液晶製造装置、電機製品、
医療機器、OA機器、光学機器、金型、加工治具等

“UACJとしての当たり前”の着実な実践

従業員の安心・安全

- ・ 災害を発生させない職場環境への更新
- ・ 製造所の段階的な自動化・無人化の推進
- ・ U-KI活動による職場環境の改善

顧客志向と ものづくり力の強化

- ・ 顧客・マーケットを軸に、事業連携を強化
- ・ ALmitas+ブランド認知度強化
- ・ ものづくり学園の全社的な組織化
: 技能伝承の強化、
スタッフ系研修プログラムの強化

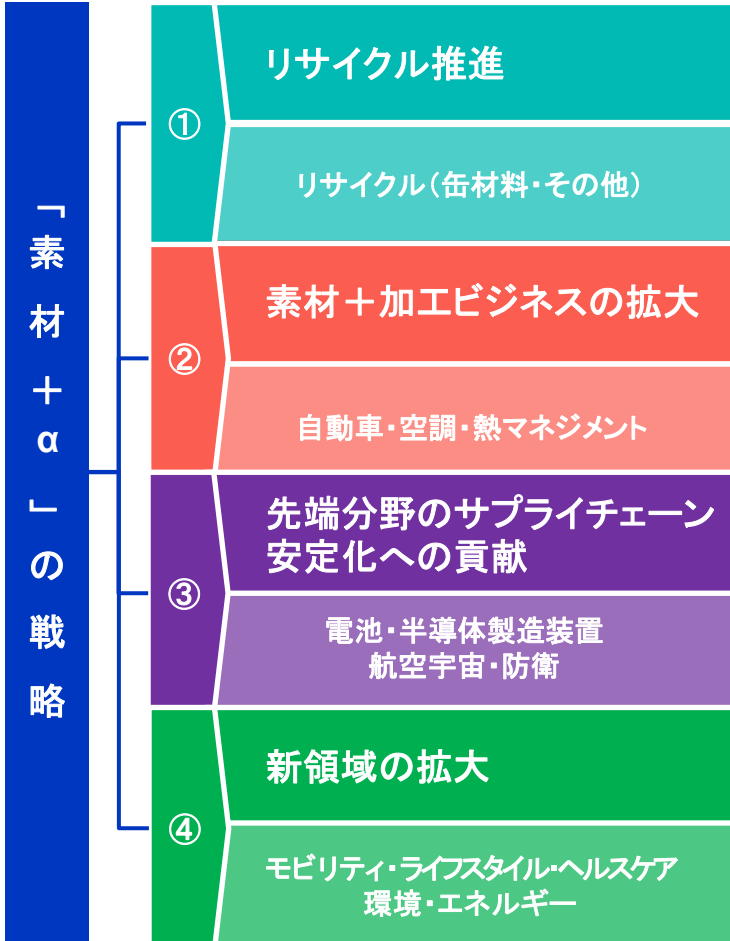
ガバナンス・ コンプライアンス

- ・ 社内外役員のバランスの維持
- ・ 人権DDの継続実施

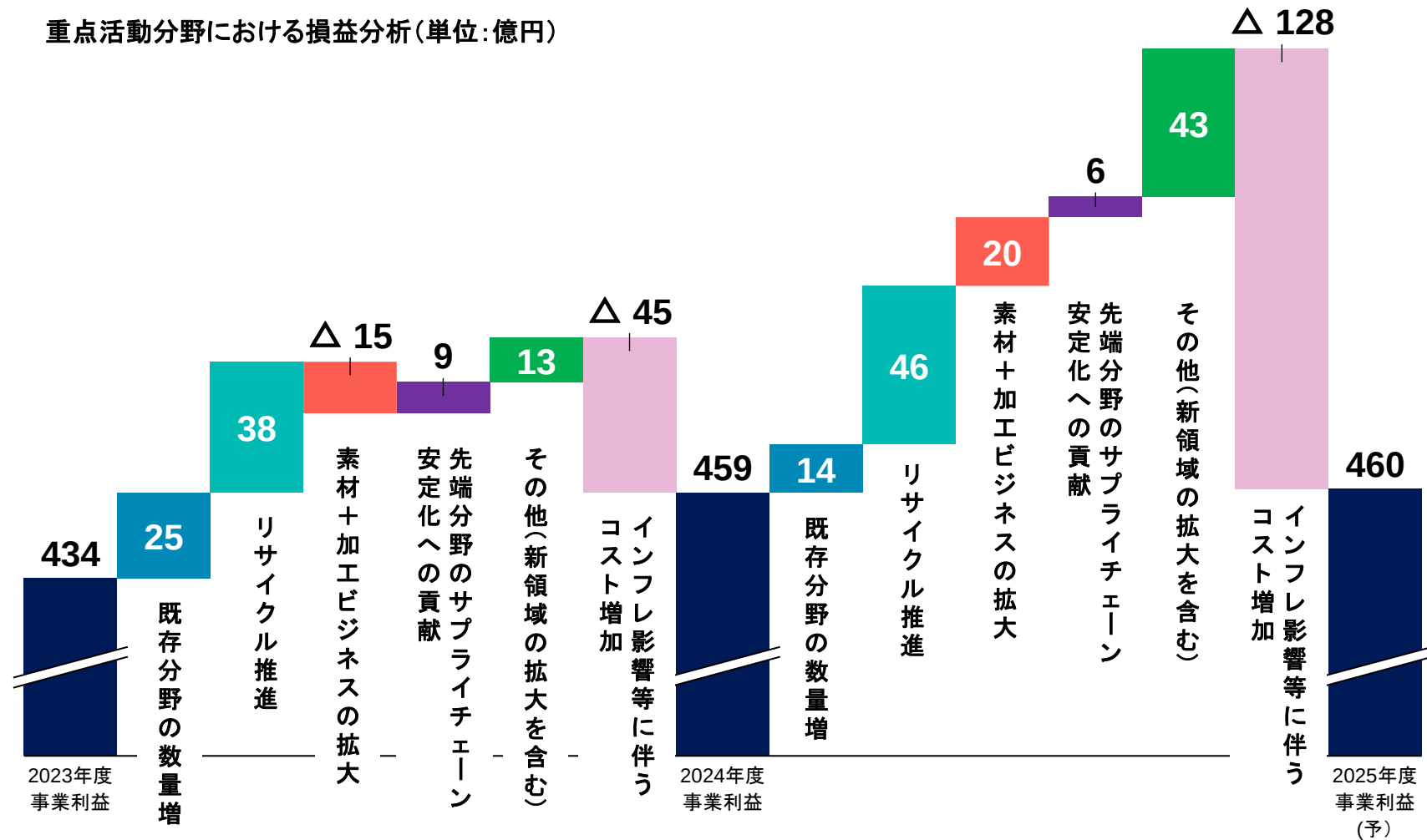
成長戦略・付加価値戦略の進捗

第4次中計前半に生産能力を増強し、後半～第5次中計での収益確保を目指す

4次中計における“+α”の分野(上段)
と重点活動分野(下段)

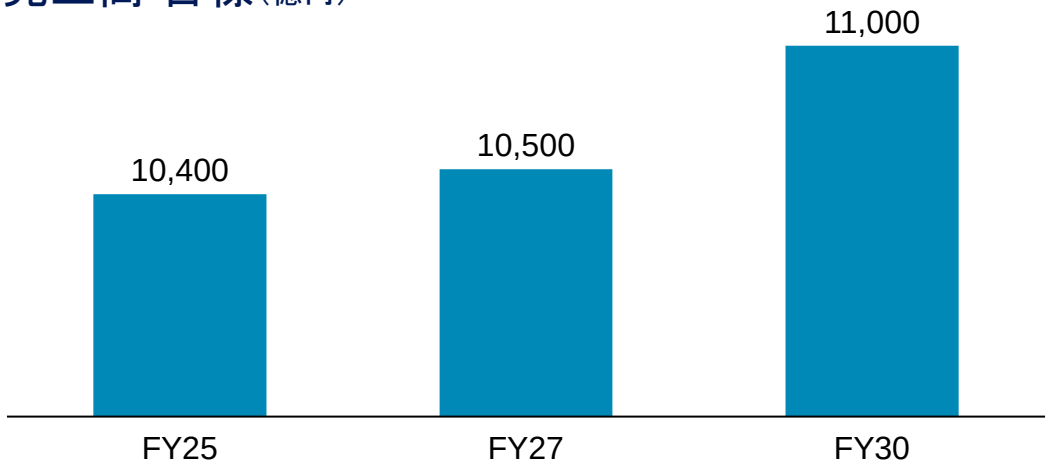


重点活動分野における損益分析(単位:億円)

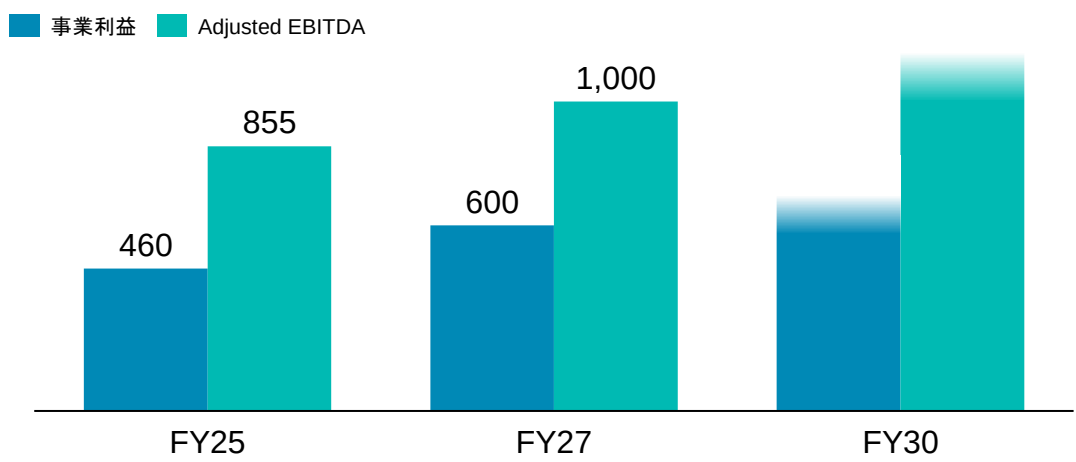


財務目標

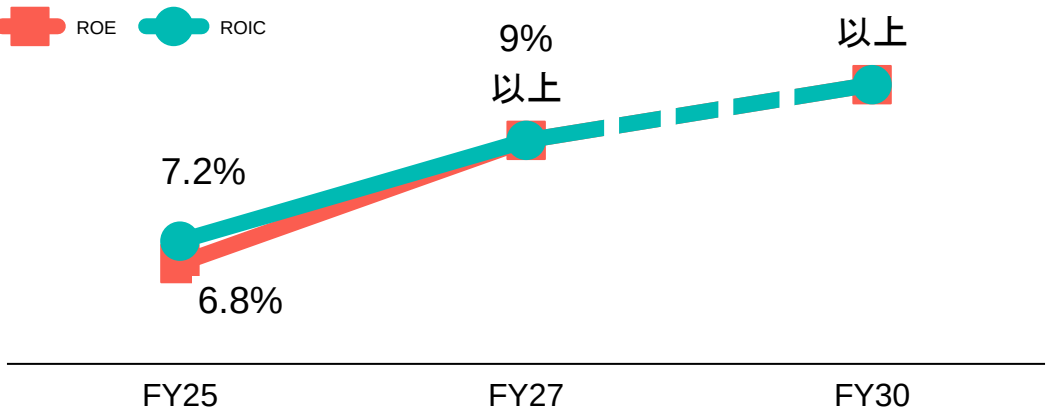
売上高 目標(億円)



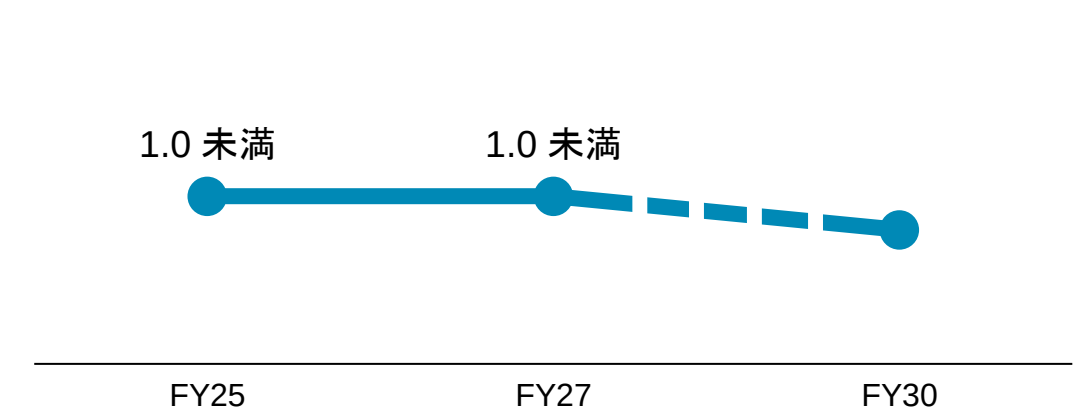
事業利益・Adjusted EBITDA^{*1} 目標(億円)



ROE / ROIC^{*2} 目標(%)



D/Eレシオ^{*3} 目標



^{*1} Adjusted EBITDA : EBITDA 一棚卸資産影響等
^{*2} ROIC : 税引前事業利益を基に算出
^{*3} D/Eレシオは劣後ローンの資本性を考慮

【FY24実績条件】 LME: 2,526 \$/ton、為替: 143 円/\$
【FY25前提条件】 LME: 2,500 \$/ton、為替: 145 円/\$
【FY27前提条件】 LME: 2,200 \$/ton、為替: 140 円/\$

株主還元

年間配当金は、160円/株を計画

第4次中期経営計画期間 還元方針

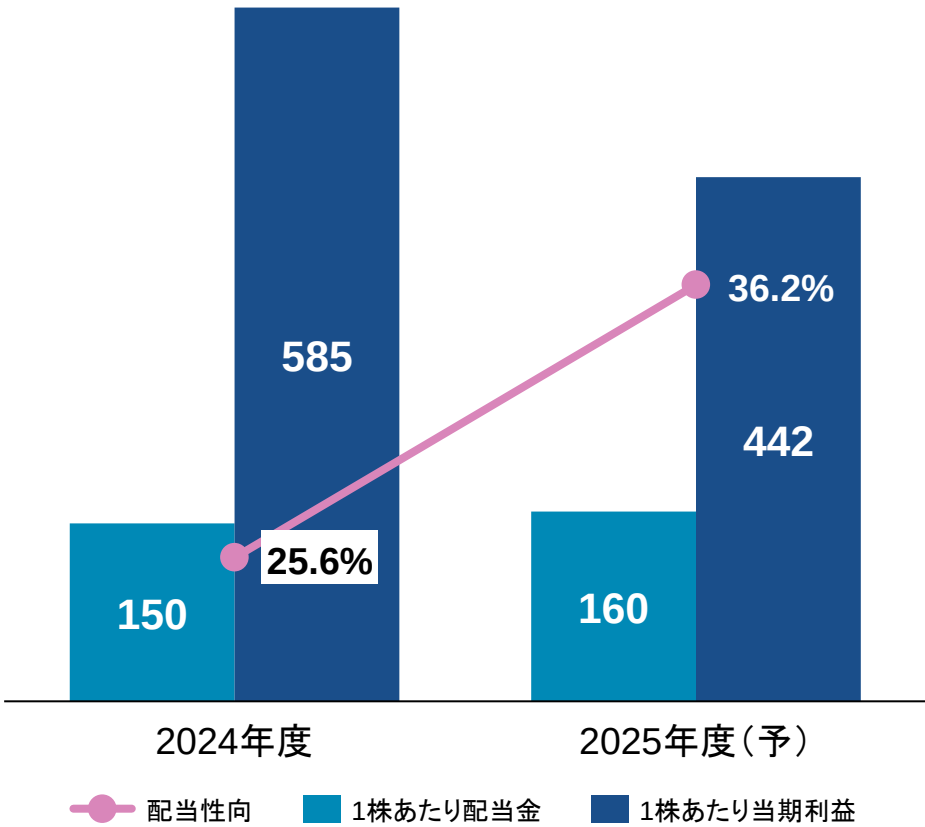
安定的かつ継続的な配当を目指す

⇒第4次中期経営計画(24~27年度)期間中の
配当性向は最終利益*の30%以上が目途

株主還元の実施および実施見通し

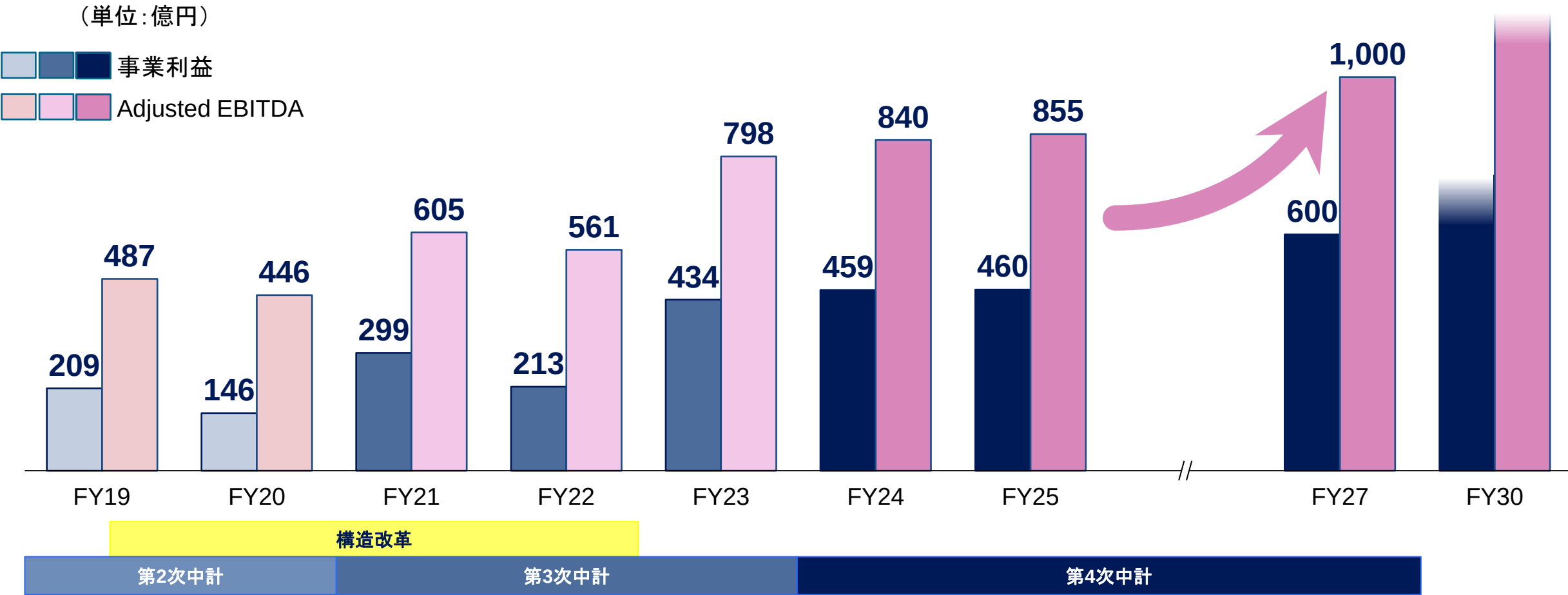
	2024年度	2025年度
最終利益	280億円	200億円
年間配当	150円/株	160円/株
配当性向	25.6%	36.2%
自己株式取得	(2025年2月) 300万株 / 151億円	

1株あたり配当金(円)/1株あたり当期利益(円)/配当性向(%)



事業利益・Adjusted EBITDA 推移

第4次中期経営計画達成に向けて、順調に進捗。さらなる向上へ



マテリアリティへの取り組み



アルミニウムの循環型社会の牽引
(サーキュラーエコノミー)



気候変動への対応



自然の保全と再生・創出
(ネイチャーポジティブ)



人権の尊重



多様性と機会均等の浸透

2024年度実績
(下段2024年度目標値)

UACJリサイクル率
73.9%
(73%)

Scope3排出量の削減率
20.1%
(13.6%)

※Category1、FY19比・原単位

評価指標: 取水量の削減率
算定中
(10%)

※FY20比・原単位

人権DD実施率
52%
(25%)

女性管理職比率
11.1%
(9.5%)

2050年までの目標達成への歩み





Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界

資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けて

岡田 浩三

執行役員 財務本部長



資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて

資本収益率の向上と資本コストの低減を継続し、早期にPBR1.0倍以上の実現へ

ROEの向上

23年度 **5.3%** → 24年度 **9.9%**

⇒事業利益(434⇒459億円)
⇒最終利益(139⇒280億円)
⇒自己株式取得の実施 等

2025年度以降のアクション

事業利益 600億円(2027年度)
Adjusted EBITDA 1,000億円(2027年度)

- ・ ROIC 9%以上(事業利益ベース)
- ・ D/Eレシオ 1.0倍未満(金融費用の削減 等)

第4次中計目標

ROE

9%以上

資本コストの低減

23年度 **9%** → 24年度 **8%台**

β値*の改善

1.62 → **1.25**

損益管理の精度向上、
安定的・継続的な利益の計上
⇒信用力向上(格付A格の取得)
⇒当社理解の促進
(積極的なIR活動、情報開示)

β値の改善

- ・ 継続的な事業成長・企業価値向上
- ・ 積極的な資本市場との対話、
情報開示の強化
- ・ 安定的かつ継続的な株主還元の実施
(配当性向30%以上)
- ・ 信用力の強化(財務体質の強化)

株主資本コスト

7%台

エクイティ
スプレッド

**さらなる
拡大を目指す**

**PBR
1.0倍
以上**

	24年3月末	25年3月末
株価	4,405 円	4,770 円
PBR	0.77	0.76

第4次中期経営計画の達成に向けて

企業価値向上に向けた“素材+α”戦略投資の実行

資金運用表 2024年度実績(億円)

	用途		調達	
長期 資金	設備投資等	369	税引前利益	430
	法人税等支払	68	減価償却費	381
	配当金支払	61		
	長期資金余剰	314		
短期 資金	棚卸資産の増加	552		
	債権債務増減他	39		
			短期資金不足	591

■2025年度取組み

【長期資金の更なる創出】

- ・需要を確実に取り込む販売量の拡大
- ・価格改定の実施

Adjusted EBITDA: 855億円(2025年度見通し)

【短期資金創出】

CCC改善活動の取組み強化による運転資金の抑制

2025年度の主な投資計画

■能力増強投資:

TAA: 熱間圧延設備

■リサイクル推進投資:

UACJ山一アルミ缶リサイクル: UBC*処理設備

TAA: UBC処理設備増設 * UBC: 使用済み飲料缶(Used Beverage Can)

■先端分野のサプライチェーン安定化への貢献投資:

航空宇宙・防衛材: 厚板焼入れ炉の増産投資決定

箔事業: LiB集電体用の生産能力拡充および競争力強化

■2027年度に向けて

- ・財務体質: D/Eレシオ 1.0倍未満を堅持
- ・投資: “素材+α”戦略の実現に向けた積極的な実行
- ・株主還元: 安定的かつ継続的な配当(配当性向30%以上)



第4次中期経営計画目標を達成



Aluminum lightens the world
アルミでかなえる、軽やかな世界

